

キャラクター名
尾崎 仁兵衛 (おざき じんべえ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	ヤクザ	カヴァー	ヤクザ
	ブラム=ストーカー				
オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	死	衝動	吸血	初期侵食率	35 %
出自	複数の弟妹	経験	消せない傷	邂逅	御剣 祥耶

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	10
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	0	0	0	1		1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
伝説の白鞘	白兵	3r-2	3	9		侵食値+5で攻撃力+消費したHP×2 (10まで)、1回/1S

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
[35] 吸血鬼/ヴァンパイア	P	N		
新嶋 靖文	P 尊敬	N 悔悟		
伝説の白鞘	P 誠意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
血色の花嫁	1	3	セットアップ	至近	単体	自動	-	
効果:	HP消費を対象が肩代わり							
鮮血の一撃	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	判定+ (Lv+1)D、HP-2							
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80%	
効果:	攻撃力+Lv×4、HP-5							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	C値-Lv							
赤き聖餐	1	3	セット	至近	単体	自動	Dロイス	
効果:	戦闘不能回復、HP+Lv×5回復、1回/1S							
伝説の白鞘	4							
効果:	下記参照							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

貧血気味で仲間に献血の協力を冀うヤンキー上りのヤクザ。兄弟の多い貧乏な家庭の長男として生まれ、反抗期にグレにぐれた結果、ヤクザのシノギにちょっかいをかけてしまい、危うく責任を取られかける。そんな若気の至りを助けてたのが、新嶋靖文を初めとする現在の組の兄貴たちである。兄貴たちのような漢気に溢れ、命を懸けて死に物狂いで抗争に明け暮れる……というような度胸はいまひとつなかったのだが、窮地を救ってもらい手にシノギまでつけてもらった恩義と背中を追いかける兄貴たちの憧れから、ヤクザの組の門を叩くようになった。大胆というよりは小心で、そんな己を鼓舞するため、あるいはそんな己が舐められないようにビックマウス (おまけにガタイはいいが、病弱気味) な彼の面倒を見たのは、新嶋靖文であった。彼は若頭の懐刀として組全体を支える兄貴分でありながら、当時としては非常に貴重なオーヴァード戦闘員であった。不死身と恐れられるその肉体の秘密も、鉄パイプ一本握らせれば負け知らずなサシの強さの秘訣も知らなかった彼は、いつか新嶋の兄貴のようなビッグな漢あるんだと、まるで自分に言い聞かせるかのように兄貴に憧れを語っていた。そんなある日、彼は新嶋にだけ命じられた報復作戦に無断でついていった。「いざとなったら兄貴の前に出て壁になってやりますよ!」「組に救っていただいたこの命、極道の男として恥じないように使いたいんです!」といった自分の言葉に背中を押され、傲慢にも兄貴への助太刀になると、新嶋の後を着いていったのだ。そこで、オーヴァード同士の血を血で洗う抗争が繰り広げられているとは知らずに。単身乗り込んだ新嶋に対して、敵は二人。ノイマンの正確無比な一撃を、ブラム=ストーカーの赫き剣を振るってぶった斬る。普通ならば、新嶋は負けるはずはなかった、のだが。そこにノコノコと彼がやってきたのである。部屋の隅でブルブルと震えることしかできなかった彼をその身でかばいながら新嶋は懸命に戦った。30分ほどの抗争の後、コンクリートの床に転がっていたのは瀕死の四人。新嶋は敵オーヴァード二人を見事倒したのだが、ブラム=ストーカーの再生能力をもってしても回復が追いつかない瀕死の重傷を負ったうえ、一矢報いようとした敵の一撃を最後の最後に庇いきれず、尾崎自身もその腹に銃弾を喰らってしまった。新嶋は意識の薄れゆく彼に、新嶋がオーヴァードに目覚めた切っ掛けを話した。そして新嶋もまた、その時と同じように新嶋自身の血液を尾崎に与えた。ブラム=ストーカーの能力が受け継がれ、奇跡的な回復力をもたらす特別な血液の最後の一絞りを自分ではなく、その弟分に与えたのだ。

ひとり組に戻ってきた彼を、他の組員や上層部の鴻巣会は「抗争の果てに殺された兄貴分の仇を討つために敵のアジトに乗り込んで、その仇を見事とった」という扱いにすることにした。新嶋が欠けた現在、他組織から舐められないように新たな人物に箔をつけて祭り上げる必要があったという建前と、尾崎の胸中を悟り新嶋の遺志を尊重したとい本音から、彼にはとある日本刀が手渡されることになる。それこそが、現在彼が帯刀している「伝説の白鞘」である。

現在も彼はブラム=ストーカーの能力者として組の戦闘員の一翼を担っている。しかし、戦闘センスにも身体の頑丈さにも恵まれた新嶋とは異なり、尾崎は「赫